事例No.	2043
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	長野県佐久穂町

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT

事例種類	医療・福祉・健康

事例内容・タイトル

人感センサーを利用した独居高齢者緊急通報システムによる見守り

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

63 人感センサーを利用した独居高齢者緊急通報システムによる見守り【長野県佐久穂町】

事業の概要

○　佐久穂町は、高齢者が安心して在宅生活を送れるよう、おおむね70歳以上の一人暮らし高齢者や見守りを必要とする高齢者世帯などを対象に、自宅へ緊急通報システムの人感センサーを設置し、24時間365日の見守りを行っている。

○　赤外線による人感センサーを「居間」「寝室」「玄関」へ設置し、センサーの検知がないなどの場合には緊急通報がシステム会社のコールセンターへ届き、専門知識を有するオペレーターが本人へ確認の電話をし、さらに緊急時には登録されたご近所、親族、消防署などへ連絡が入る仕組みとなっている。



【参考情報】 人口：1.0万人
関連URL：　－

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



以前の一人暮らし高齢者の緊急時の対応については、本人押しボタン式で屋外にブザーを設置して緊急を知らせる方法などが試みられていましたが、20年ほど前から人感センサーを使った緊急通報システム会社と委託契約を結び、装置をレンタルしています。一部個人負担があります。

（佐久穂町）



事業の近況を教えてください。



現在は22名の方が利用しています。緊急事態はここ数年発生していませんが、システム会社の専門知識を有するオペレーターによる月１回の「声掛け」は、高齢者の健康状態などの把握につながっています。「元気ですよ、ありがとうございます」と利用者から返事をいただいているとシステム会社からの報告も受けています。

★担当：佐久穂町 健康福祉課★

令和3年度事業費　849千円